セシメナケレバナラヌ。
先ニ出スコトハ不経済デアル、ダカラ全般的ニ具体化シテ向ケ
来タノデアル。戦地デ先ニ借レバイヽノダカラ具体的ニ月六七十圓ヲ手
(5) 會館建設運動、単ニ呼聲デハ困ルカラ具体的ニナレバイヽノダト云ツテ受
ケ運動ヲ継続シタ。
イハシテキマリヲ定メ大阪ハ勿論播州化學ニ於テチヤンノ日消ニ建
シ日消ニ對スル態度ニ就テハ日消労働運動ハ技運動ト相容レヌ
(4) 協同組合運動、大阪府合會ハ消費組合運動ヲナシテ居ル、然
組織ノ擴大ヲナシ得ナトマテ外設運動トシテナツタ。
(3) 市議戰爭、市會議員ヲ選出スルノガ大體ノ目的デハナイト。
事ハ諸君ノ運動ノ如クデアル。
(2) メーデーノ運動、大阪ノメーデーハ全勢ノ勢力ヲ以テ準備シタ
ロイ運動ヲナシタ。
心トシ新大衆ト共同シテ失業手當、ヲ與ヘロ失業保險ヲ制定シ

財團法人協調會大阪支所

財團法人協調會大阪支所

(6) イヌヌレ闘争ヲ組合運動ト結合シテ全般ノ労働大衆ハ全労ヲ委
細ハ表示シテアル。將來ニ對スル方針ハ議案トシテ審議シタ。イ
(7) 戰爭ニ對スル闘争ト戦闘的労働組合トシテキリ云フ自由
ヲ有スルナ今迄抽象的論議ニシタ戰爭ニ對スル認識ニヨツテヤ
ツテ行ク議ヲ決スル方向ヲ行イ戦争勃發後ニ於テ勤務労働者農民ト
戰勝ニ對スル氣分ハ濃厚デアル事実ハ存在スル重要ナ問題デアル
ルハ思想階級的ナ認識ヲシツカリ持ツテ居ル諸君ニ對シテタ
ダタガ全部ヲ必要ダト云フ事バカリダ。此ノ點ノ論議シタモノ
(8) ファッショニ對スル闘争ハ我組合ノ態度ハコウダ
我組合ハ出来得ル限リ確實ニ其ノ實的ナドヲ云フ事ガアルガ理論
ヤ外部的運動デ足ヲ出サズルノデアル實踐ヲ移ス要ガアリ先
自己ノ組合ノ内部ノ鞏固ヲ第一ト為シ、ヨウ整理サセ居ル様ナ組合
ハ救シテ害大ノ自分ニ参加シテ申出デ、組合ガ
(9) 特殊問題(イ)愛國ナ國家社會主義ニ對スル處置